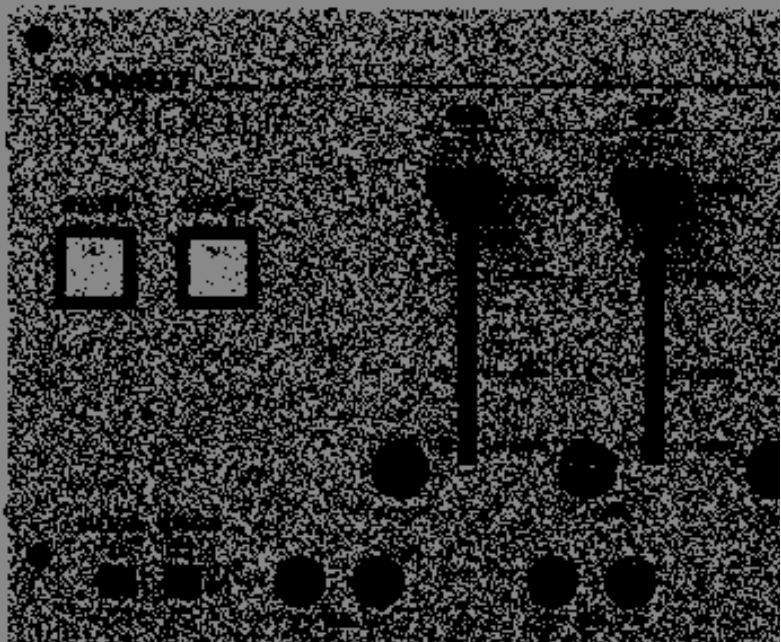


COMET

S-2400LIV

取扱説明書

ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見
られるところに保管してください。



はじめに

このたびは、コメットS-2400LIV電源部をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございます。本機は、従来のS-2400LIII電源部をより使いやすく発展させた電源部です。シンプルで分かりやすい操作性と洗練されたデザインにより、調光操作の確実性・即応性を重視した電源部です。なお、ご使用になる前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、注意事項や使用方法を十分ご理解いただいたうえでご利用ください。

付属品

● ACコード	ストロボ (3P モールドタイプ アース付)	1.5 m	1本
	モデリング (2P モールドタイプ)	1.5 m	1本
● シンクロコード (ピンジャックタイプ)		80cm	1本
● アースコード		80cm	1本
● IR-R用DCコード		2m	1本
● ヒューズ	メインヒューズ	3A	1本
	ストロボ用	800Ws 10A 1本 / 600Ws 8A	1本
		400Ws 6A 1本 / 200Ws 4A	3本
	モデリングランプ用	5A	6本
● 取扱説明書			
● 保証書			
● ご愛用者登録カード			

目次

1. 安全のため特にご注意ください	1～4
2. 使用上のご注意とお願い	5
3. 各部の名称とはたらき	6～9
4. 操作手順	10～11
5. 各灯バリエーター	11
6. モデリングランプスイッチ・モデリングランプモードスイッチ	12
7. サウンドモードスイッチ	12
8. フォトセル	13
9. 不発光警報	14
10. ヒューズ交換	14
11. 保証とアフターサービス	15
12. 仕様	16～17

1 安全のため特にご注意ください

- ご使用の前に、この説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、この機器を使う人への危害、または物的損害を未然に防止するための注意です。
- 注意事項は危害や損害の大きさと切迫の度合いを明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、「危険」「警告」「注意」の3つに区分しています。

いずれも機器を安全にお使いいただくために重要な内容ですので、必ず守ってください。

危険：人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容。

警告：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

注意：人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。

絵表示の意味



△記号は、危険・警告・注意を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な禁止内容（左図は感電注意）を示しています。



⊘記号は、禁止行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図は分解禁止）を示しています。



●記号は、具体的な指示内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図はプラグをコンセントから抜いてください）を示しています。

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。



警告

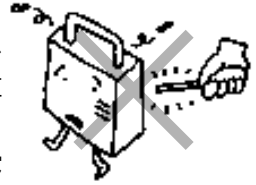


- 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないでください。

電源部は、メインスイッチを切りACコードをコンセントから抜いた後も、内部には長時間高電圧が残っており、感電の恐れがあります。

また、発光部も電源部へ接続した状態では高電圧がかかっており危険です。

十分注意をしてください。



- 水に濡れる場所や湿度の高い場所での使用、また手足が濡れた状態や素足での操作はしないでください。

漏電による感電の恐れがあります。

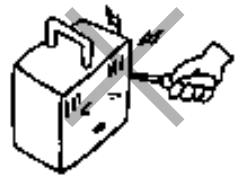


- 電源部の出力コネクタ金属部には、絶対に触れないでください。

電源部は、メインスイッチを切った後も高電圧が残っており、感電の恐れがあります。

- 電源部やヘッドのスリット部には金属などの異物を絶対入れないでください。

感電、ショートによる発火の恐れがあります。



- 感電防止のため、必ずアース(接地)してください。

アース線を接続するときは、機器のメインスイッチを切り、ACコードをコンセントから抜いて行ってください。

アース線は絶対にガス管にはつながないでください。





- 使用中のヘッドに水滴などがかからないようにしてください。

使用中のヘッドはキセノン管、モデリングランプが高温になっています。水滴などがかかるとガラスが破裂する恐れがあり、大変危険です。取扱いには十分注意をしてください。



- ヘッドコードプラグは電源部の出力コネクターに確実に差し込んでください。

プラグの接続が不確実な場合、スパークにより発火の恐れがあります。

- ヘッドは発光時、高温の熱を発生します。人体に向けて近い位置で発光させたり、可燃物に向けての使用は絶対にしないでください。

火傷や火災の恐れがあります。

- 揮発性のガソリン、シンナー、可燃性ガスなどを使用している場所や、大量の粉塵が舞っている室内などでは絶対に使用しないでください。

爆発、火災、火傷の恐れがあります。

- 使用電圧は AC100V (50/60Hz) です。

異なる電圧で使用すると感電、発火、火災の原因となります。

- ACコードプラグやヘッドコードプラグを着脱する時は必ず電源部のメインスイッチ、モデリングランプスイッチを切ってください。

急激に大電流が流れ、ショートによる火傷、発火の恐れがあります。



注意



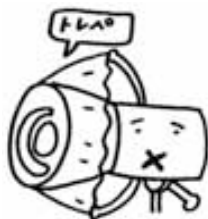
- 使用中や使用直後のヘッドは、かなりの高温になっています。十分温度が下がってから取り扱ってください。

火傷の恐れがあります。



- ヘッド使用中は、紙や布または樹脂系のシートなど可燃物を近づけたり、覆っての使用はしないでください。

使用中はかなりの高温となり発火、火災の恐れがあります。



- ヒューズやモデリングランプは弊社指定の定格品を使用してください。

定格品以外の使用は発火、火災の原因となります。



- 落としたり衝撃が加わったときは、直ちに使用を中止し、弊社、またはご購入店で点検を受けてください。

外観的な変形がなくても内部の電子部品などの損傷で、感電や漏電の恐れがあります。

コードの被覆損傷のときも同様に点検を受けてください。



- 使用後は安全のために必ず AC コードをコンセントから抜き取ってください。



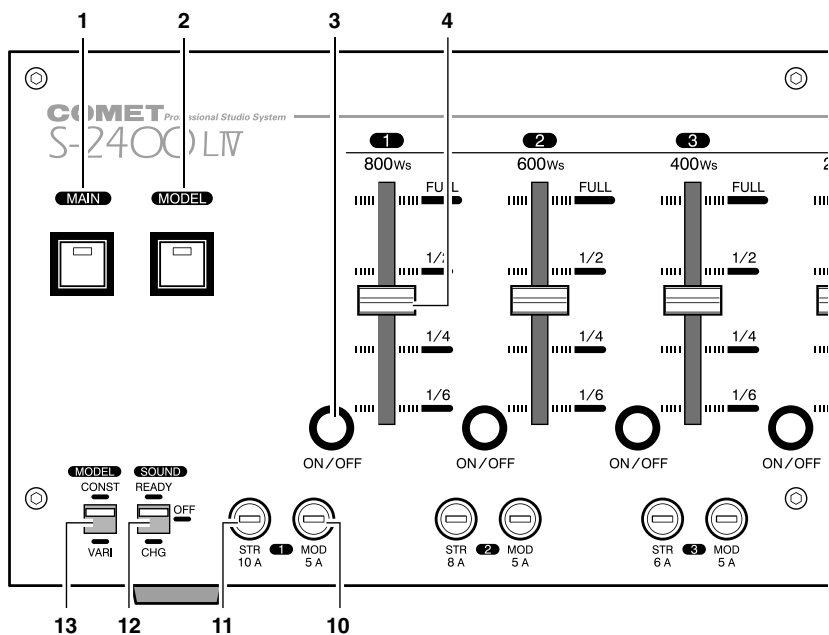
2 使用上の注意とお願い

- 調光器に接続しての使用はしないでください。本機および調光器を破損する恐れがあります。
- ストロボ電源部は使用しないときでも1カ月に1～2度は必ず出力をFULLにして通電をしてください。
特に3カ月以上の長期にわたって使用しなかったときは、出力をFULLにして最低4時間通電をしてください。この間は絶対に発光させないでください。長期間使用にならなかったストロボ電源部は、そのまま発光をくり返すとコンデンサーが発熱して破損することがあります

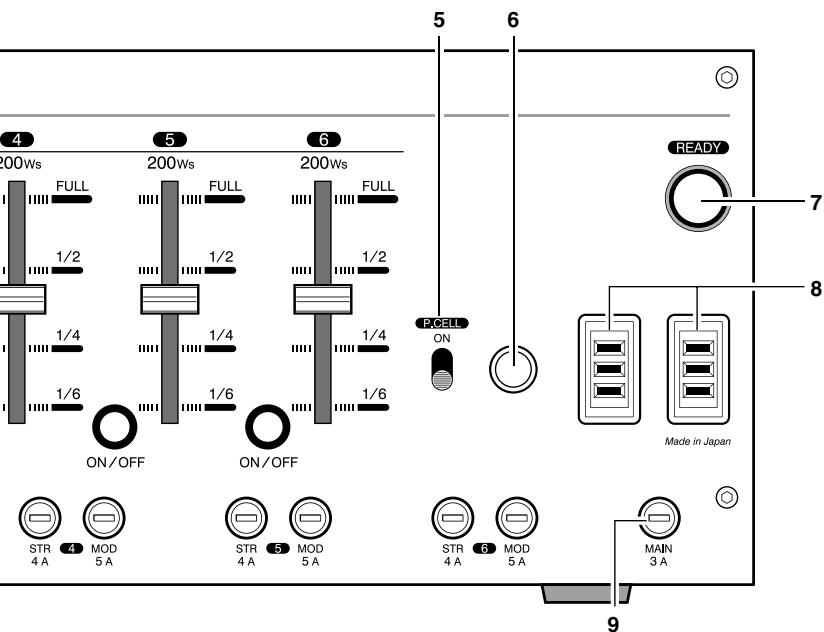
-
- 赤外シンクロ装置(当社製)の受信器は、室内の蛍光灯から離れた場所にセットしてください。
蛍光管から出る赤外線により、誤動作を起こすことがあります。
 - 複数台のストロボ電源部を赤外シンクロ装置(当社製)で使用するときは、それぞれのストロボ電源部に受信器をセットしてください。このときはすべてのストロボ電源部のフォトセルスイッチを必ず「OFF」にしてください。
赤外シンクロ受信器を使用していてもフォトセルスイッチが「ON」のとき、同調発光しない電源部が出ることがあります。

3 各部の名称とはたらき

名称	はたらき	参照頁
1 メインスイッチ(MAIN)	AC電源スイッチです。通電されているとき、点灯します。	10
2 モデリングランプスイッチ(MODEL)	使用しているすべてのモデリングランプを一括で「ON」または「OFF」にします。「ON」のとき点灯します。	10・12
3 各灯スイッチ	各出力を「ON」または「OFF」にします。出力が「ON」のとき点灯します。不発光が生じたときはブザーが鳴りランプが点滅します。	10・14
4 各灯バリエーター	出力をFULL～1/6まで無段階に調光します。	11
5 フォトセルスイッチ(P.CELL)	他のストロボ光を受けて同調発光させるとき「ON」にします。	13
6 フォトセル	他のストロボ光を受けて同調発光させるときの受光部です。	13
7 レディーランプ(READY) / テスト発光スイッチ	充電が完了すると点灯します。テスト発光をするときはランプ部を軽く押してください。	11

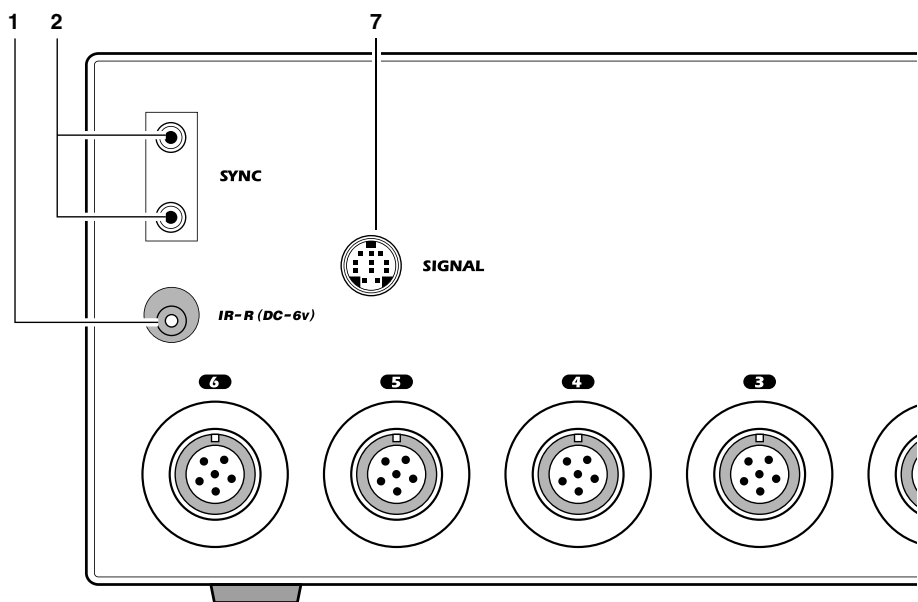


名称	はたらき	参照頁
8 シンクロソケット	CXタイプのシンクロコード(別売)でカメラと接続します。	
9 メインヒューズ(MAIN)	電源部全体の回路を保護します。 ヒューズ定格をお守りください	14
10 モデリングランプヒューズ(MOD)	モデリングランプ回路を保護します。 ヒューズ定格をお守りください。	14
11 ストロボヒューズ(STR)	ストロボ回路を保護します。ヒューズ定格をお守りください。	14
12 サウンドモードスイッチ(SOUND)	「充電完了(READY)」「充電中(CHG)」「OFF」を切り換えます。	12
13 モデリングランプモードスイッチ(MODEL)	モデリングランプを「100%点灯(CONST)」、または「調光(VARI)」に選択します。	12



3 各部の名称とはたらき

名称	はたらき	参照頁
1 DV6V出力端子 (IR-R(DC6V))	当社IR-R用電源出力端子です。付属のDCコードで接続します。(IR-R以外の目的では使用しないでください。)	
2 シンクロ端子(SYNC)	電源部と電源部のシンクロ接続、またはシンクロを外部に取り出すときに使用します。	
3 ストロボ用ACコネクター (AC IN / STR)	ACコード3P(付属品)で電源部とコンセントを接続します。	
4 モデリングランプ用 ACコネクター (AC IN / MOD)	ACコード2P(付属品)で電源部とコンセントを接続します。	



名称

はたらき

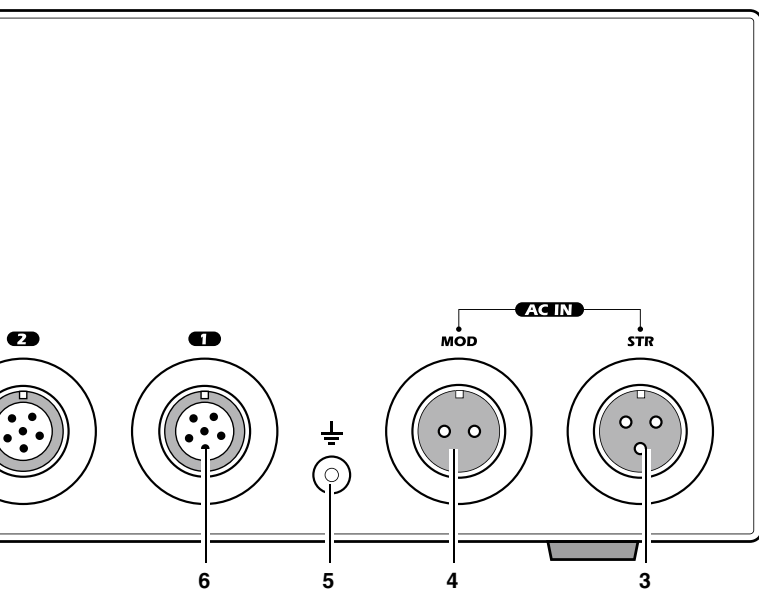
参照頁

- | | | |
|---|-------------|--|
| 5 | 接地端子(アース) | 感電を防止するため、必ず接地してください。 |
| 6 | 出力コネクタ(1~6) | ヘッドを接続します。
着脱時はメインスイッチを「OFF」にしてください。 |
| 7 | シグナルコネクタ | S-SCBLⅢコントロールボックスを使用するときに、
シグナルコードで接続します。 |

10

※シグナルコードは、S-SCBLⅢコントロールボックスの付属品です。

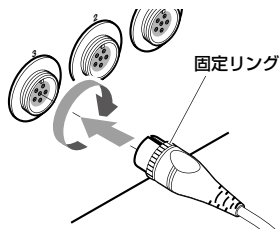
- ストロボ用、モデリングランプ用の各ACコードは、二系統のコンセント回路へ接続して使用してください。



4 操作手順

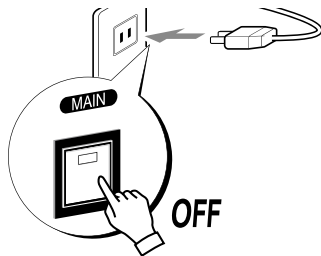
■ 1. ヘッドコードを電源部に接続してください。

使用するヘッドのコネクターを電源部の出力コネクターに十分に差し込み、固定リングで確実に固定します。



■ 2. AC コードを接続してください。

AC コード (2 本) を AC コネクターへ接続します。モデリングランプ用 (MOD) は 2P (アースなし) を、ストロボ用 (STR) は 3P (アース付) をそれぞれ十分に差し込み、固定リングで確実に固定します。電源部のメインスイッチと、モデリングランプスイッチが「OFF」になっているのを確かめてから、AC コンセントに接続します。

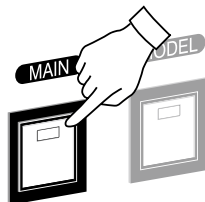


【ご注意】

- 必ずアースの接続をしてご使用ください。

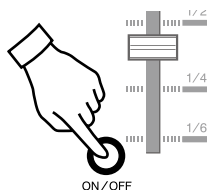
■ 3. メインスイッチを「ON」にしてください。

メインスイッチ (MAIN) を「ON」にします。メイン表示ランプが点灯します。各灯スイッチが全て「OFF」の場合、ブザーが鳴ります。(故障ではありません) 各灯スイッチを「ON」にすると止まります



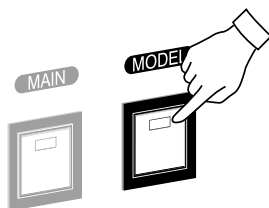
■ 4. 各灯スイッチを「ON」にしてください。

ヘッドが接続されている出力回路の各灯スイッチを押して「ON」にします。各灯表示ランプが点灯します。



■ 5. モデリングスイッチを「ON」にしてください。

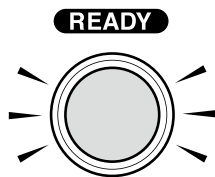
モデリングランプスイッチ (MODEL) を押して「ON」にします。モデリングランプモードスイッチで点灯モード (CONST=100% 点灯 / VARI= 調光) を選択します。



☞ 詳細は 12 ページをご参照ください。

■ 6. 充電の完了。

充電が完了するとレディーランプ (READY) / テスト発光スイッチが点灯して発光準備が完了します。



■ 7. テスト発光をしてください。

レディーランプ (READY) / テスト発光スイッチを軽く押し、接続したヘッドが正常に発光することを確かめてください。

■ 8. カメラとのシンクロを確認します。

シンクロコードでカメラと接続し、カメラでの発光テストをします。

【ご注意】

- 本番撮影をされる前に実際のフィルムもしくはインスタントフィルム等でカメラのシンクロ (同調) テストをされるようお奨めします。
- カメラまたはレンズに M/X 接点があるときは、必ず X 接点を使用してください。
- フォーカルプレーンシャッターのカメラを使用のときは、シャッター速度を 1/60 ~ 1/30 秒で使用してください。

5 各灯バリエーター

各灯バリエーターは選択された各々の出力を最大出力から、1/6までを無段階に調光します。

■ 出力バリエーターを下げたとき。

本機は電圧調光方式を採用しています。このため出力を下げたとき内部のメインコンデンサーに蓄えられている電気エネルギーは、すぐに新たな設定出力値までは下がりにません。

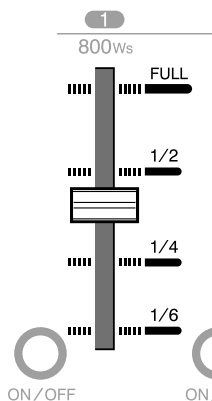
【ご注意】

- 出力を下げたときは一度発光させてください。再度充電が完了すると設定した出力値になります。

■ 出力バリエーターを上げたとき

設定された出力値まで自動的に充電が行われますので、発光操作は必要ありません。

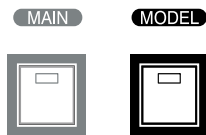
このときレディーランプ (READY) がいったん消灯し、充電が完了すると再び点灯します。



6 モデリングランプスイッチ／モデリングランプモードスイッチ

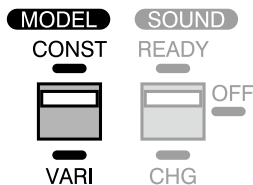
■ モデリングランプスイッチ (MODEL)

使用しているすべてのヘッドのモデリングランプを一括で ON / OFF します。



■ モデリングランプモードスイッチ

- CONST 各灯のストロボ出力に関係なく、モデリングランプが100%の明るさで点灯します。
- VARI 各灯のストロボ出力に応じて調光します。



7 サウンドモードスイッチ

■ READY

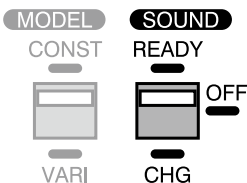
充電が完了したときに、ブザーが鳴ります。

■ CHG

充電中はブザーが鳴り、完了したときにブザーが止まります。

■ OFF

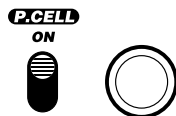
充電状況を確認するためのブザー音を切ります。



- 警報はサウンドモードに関係なく鳴ります。

8 フォトセル

他のストロボに同調発光させるとき、フォトセルスイッチを「ON」にします。



【ご注意】

- 赤外線シンクロ装置を使うときは必ず「OFF」にしてください。
- フォトセル受光部周辺に直射日光など強い光があたると作動しないことがあります。
- 同調発光させないときは「OFF」にして、ご使用ください。

9 不発光警報

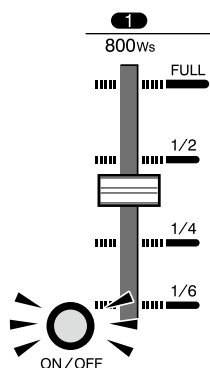
■ 充電完了後の不発光警報

発光操作をしても、何らかの原因で発光しないときは、ブザーが鳴り、該当する表示ランプが点滅します。

- 警報はサウンドモードに関係なく鳴ります。

■ 充電完了前の不発光警報

充電完了前に発光操作を行ったとき、ブザーが鳴り、使用しているすべての各灯表示ランプが点滅します。



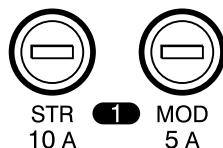
■ 警報の解除

充電完了後ふたたび発光操作をして正常に発光すれば自動的に解除されます。

また、メインスイッチ (MAIN) か、各灯スイッチをいったん「OFF」にすることで解除できます。

10 ヒューズ交換

該当するヒューズホルダーの蓋を⊖ドライバーで押しながら反時計方向に回して外し、断線したヒューズを取り出します。切れたヒューズと同じ定格のヒューズと交換してください。



	800Ws	600Ws	400Ws	200Ws
メイン(MAIN)	3A			
モデリングランプ(MODEL)	5A			
ストロボ(STROBE)	10A	8A	6A	4A

【ご注意】

- ヒューズ交換は、メインスイッチ(MAIN)を「OFF」にし、必ず AC コードのプラグをコンセントから抜いて行ってください。
- ヒューズは必ず表示されている定格のものを使用してください。定格以外の使用は発火や火災の原因となります。

11 保証とアフターサービス

■保証書と保証期間

添付された保証書に「販売店名・ご購入日」など、所定事項の記載もれがないかをご確認のうえ大切に保存してください。なお、保証期間はご購入日から一年間です。

本製品に、純正部品・純正アクセサリ以外のものを使用することによって生じた故障・事故、および本取扱説明書で明記した注意・禁止された事項をお守りにらずに生じた故障・事故については一切の責任を負いかねます。

また、消耗品類は保証の対象となりません。詳しくは保証書の保証規定をご参照ください。

■保証期間終了後の修理

保証期間後でもご要望により有償で修理いたします。引き続き安心してご使用いただけます。

■アフターサービス

すべてのコメント製品は、嚴重に調整・検査して出荷されていますが、万一故障になったときはご購入店または弊社営業所へご連絡ください。

■修理・点検へお出しになる際のご注意

修理・点検にお出しになる際は、ご使用中のシンクロコードをセットにしてご依頼ください。迅速なアフターサービスをさせていただきます。

保証期間中のものは必ず保証書を添付してください。保証期間後のものは保証書に記載されている製品名・型式・ご購入年月日をお知らせください。

また、修理にお出しになる前にACプラグが抜けてないか、ヒューズ、ブレーカーが切れていないかをお調べください。

■修理・点検後のご注意

修理伝票は修理完了品に添付してあります。

修理内容が明記されておりますので、修理品をお受け取りになる際に確認してください。

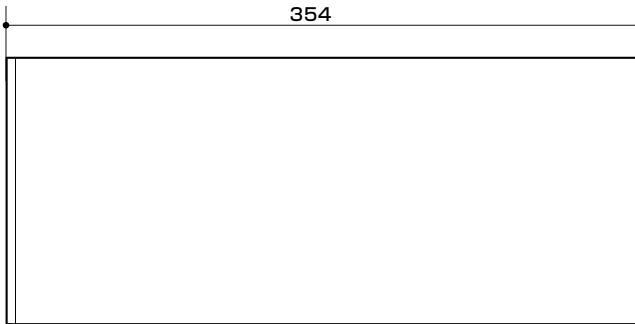
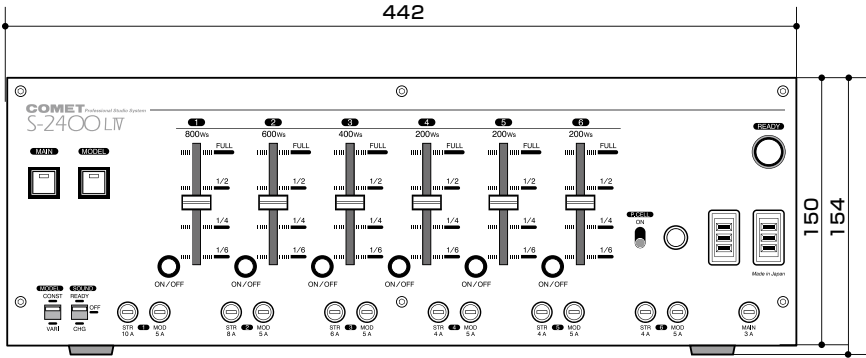
また、修理伝票は次回の修理に必要となるときがありますので大切に保管してください。

12 仕様

品名	S-2400LIV 電源部			
型式	S-2400LIV			
定格電圧	AC100V±10% 50/60Hz			
A C コード	ストロボ	25φ	3Pモールドタイプ	アース付
	モデリング	25φ	2Pモールドタイプ	
ヒューズ定格	800Wsブロック	10A	600Wsブロック	8A
	400Wsブロック	6A	200Wsブロック	4A
	モデリングランプ	5A	メイン	3A
充電時間	2.4秒(50Hz)／2.2秒(60Hz)			
出力灯数	6(Sタイプ)			
最大出力モード(Ws)	800・600・400・200・200・200			
出力表示	出力バリエーター目盛			
各灯スイッチ	ストロボ、モデリングランプをON/OFF			
ストロボ調光方式	電圧調光			
ストロボ調光範囲	FULL～1/6 無段階(スライド式)			
モデリング調光モード	連動調光(VARI)／コンスタント(CONST)			
モデリングランプスイッチ	全灯一括 ON/OFF			
モデリングランプ定格	1回路500Wまで、総合計2000W以下			
供給電源ブレーカー容量	20A 2回路			
シンクロソケット	フロントパネル-CXタイプ×2／リアパネル-ピンジャック×2			
フォトセル	内蔵(スイッチ付)			
シンクロ電圧	DC12V			
サウンドモード	充電中音／充電完了音／OFF			
不発光警報	核当する各灯スイッチの点滅とブザー連続音			
寸法	442(w)×154(h)×354(d)mm (ゴム足含む)			
重量	14.8kg			

- 本仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
なお、この仕様は2005年12月現在のものです。


S-2400LV 電源部外觀寸法



単位 mm

検査証	当製品は弊社の厳重なる検査に合格したことを証します。	品管	検査

●長年ご使用のストロボ機器の点検をぜひ！

愛情点検	こんな症状はありませんか	▶	このような症状のときは直ちに使用を中止してACプラグをコンセントから抜いて、当社営業所または販売店にご相談ください。
	<ul style="list-style-type: none"> ●スイッチを入れても所定の時間で充電しない ●通電中に異音、異臭、あるいは発煙する ●ヒューズがすぐ切れる ●ストロボ電源部やヘッドに触るとビリビリと電気を感ずる ●その他の異常や故障があるとき 		

●ストロボ電源部、ヘッドは内部に高電圧を蓄える機器です。誤った操作、または異常を無視して使用すると、使用する人々への危害、または物的損害を与えることが予測されます。

取扱い説明書の操作方法に従い、「警告」「注意」などを守って安全にお使いください。

●上記のような症状がなくても1年に1～2回は点検を受けられるようおすすめします。

アフターサービスについてのご相談は

COMET®

コメット株式会社

本社	〒102-0071	東京都千代田区富士見 1-4-6	TEL. (03) 3264-8621	FAX. (03) 3264-6385
札幌営業所	〒064-0805	札幌市中央区南5条西12丁目	TEL. (011) 561-2488	FAX. (011) 563-2620
仙台営業所	〒981-8003	仙台市東区南光台 4-29-25 サンエハイム101	TEL. (022) 727-6521	FAX. (022) 727-6523
東京営業所 営業課	〒135-0023	東京都江東区平野 2-16-20	TEL. (03) 5245-3831	FAX. (03) 5245-3835
東京営業所 コマーシャル課	〒135-0023	東京都江東区平野 2-16-20	TEL. (03) 5245-3831	FAX. (03) 5245-3835
東京営業所 デジタルイメージング	〒135-0023	東京都江東区平野 2-16-20	TEL. (03) 5245-3831	FAX. (03) 5245-3835
名古屋営業所	〒464-0075	名古屋千種区内山 3-1-1 桜通内山ビル1F	TEL. (052) 735-9077	FAX. (052) 735-9088
大阪営業所 営業課	〒550-0015	大阪市西区南堀江 2-9-22	TEL. (06) 6536-0671	FAX. (06) 6536-4020
大阪営業所 コマーシャル課	〒550-0015	大阪市西区南堀江 2-9-22	TEL. (06) 6536-1667	FAX. (06) 6536-4020
広島営業所	〒730-0051	広島市中区江波西 1-7-16 リラハイブ	TEL. (082) 293-0075	FAX. (082) 293-0076
福岡営業所	〒812-0042	福岡市博多区豊 2-1-4	TEL. (092) 411-1202	FAX. (092) 411-1209
福岡営業所 コマーシャル課	〒812-0042	福岡市博多区豊 2-1-4	TEL. (092) 411-1254	FAX. (092) 411-1209
一級建築士事務所	〒102-0071	東京都千代田区富士見 1-4-6	TEL. (03) 3264-8623	FAX. (03) 3264-9906
海外事業部	〒102-0071	東京都千代田区富士見 1-4-6	TEL. (03) 3264-8622	FAX. (03) 3264-6385
ストロボクニック部 本部	〒102-0071	東京都千代田区富士見 1-4-6	TEL. (03) 3234-5081	FAX. (03) 3234-1356
産業機器部	〒102-0071	東京都千代田区富士見 1-4-6	TEL. (03) 3264-8692	FAX. (03) 3264-8624